



H22. 2. 5. No1269
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 指導1名 青年2名、が認定される —平成21年度 県漁業士認定式—

静岡県では、1月20日 県庁において、県知事や水産業団体関係者の代表者が出席する中、平成21年度県漁業士認定式が執り行われました。

これは漁業者としての意欲の高揚と資質の向上を図るため、漁業に関する知識や技術を習得し、本県漁業の中核者となりえる青年を「静岡県青年漁業士」【23歳以上40歳未満】として、また、現に優良な漁業経営の育成に指導的な役割を果たしている者を「静岡県指導漁業士」【40歳以上65歳未満】として認定しているものです。

当日は、県知事から、「漁業分野の技術や蓄積を継承しながら、“士”に恥じないよう活躍して頂きたい」との激励や、本会橋ヶ谷会長（代読：大村専務）から、「今日の厳しい環境の下、今後の活躍に期待するところは大きい。今後漁協や各種団体役員として、また指導者として中心的役割を發揮されるよう期待します」とエールが送られました。

今年度に認定された漁業士の方は下記のとおりで、地域漁業の発展や活性化に、今後の活躍が期待されます。

▽指導漁業士（1人） 杉浦嘉則氏（静岡うなぎ漁協/養鰻業）

▽青年漁業士（2人） 内野輝隆氏（遠州漁協/船曳網漁業）
永谷晃久氏（遠州漁協/船曳網漁業）

なお、21年度を含めた現在の漁業士認定者総数は、指導漁業士79名、青年漁業士21名となっています。

2. 県内初のLGL（ライフガードレディース）委嘱式 —由比港漁協女性部—

本会では、清水海上保安部と連携し、1月26日 由比港漁協において、県内初の救命胴衣着用推進員「LGL（ライフガードレディース）委嘱式」を、関係者立会いのもと執り行いました。

これは、海難事故の予防を図るため、救命胴衣の着用順守を徹底するよう、漁協女性部員に、浜の安全は家庭内や漁港内での声かけ運動からという趣旨によるものです。このたび県漁連を通じて、同漁協にライフガードレディースの委嘱を依頼したところ、自発的に女性部全員の79名より申し出がありました。

すでに由比港漁協では、救命胴衣の着用推進に理解を示し、乗組員への支給をいち早く実施しており、海上保安庁からライフジャケット着用推進モデル漁協にも指定されており、これら動きの中で、今回のLGL（ライフガードレディース）委嘱は、今後、県下漁協の先駆けとして、模範的な啓発モデルにふさわしい活動が実るよう期待されています。

当日は、由比地区・蒲原地区でつくる由比港漁協女性部の15名が集合し、清水海上保安

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

部の星部長から「妻の立場から救命胴衣の着用を呼びかけてほしい」と期待が述べられたほか、本会橋ヶ谷会長からは、「大切な主人や息子さんの航海と操業の安全を確保できるものと確信しています」と挨拶が行われました。続いて、出席の女性部員全員に委嘱状が手渡された後、代表して實石女性部長が「無事の帰りを待つのは浜の母さんです。漁に送り出す時は愛情のある声かけを心掛けたいです」と女性の視点で語りました。

本会では、救命胴衣着用推進による運動の輪を広げるため、今後LGL（ライフガードレディース）委嘱を、県内漁協の女性部や漁協女性職員等に拡大し、広く海難事故の予防意識の高揚に努めていくこととしています。

3. 第48回水産加工技術セミナー開催のお知らせ

県水産技術研究所（安井 港所長）では、新技術の開発・導入による開発、消費者志向に基づく品質の高度化・安全性の確保あるいは廃棄物の有効利用などを推進するため、水産加工技術セミナーを下記のとおり開催します。

▽開催日時：平成22年3月2日（火）13:00～16:10

▽開催場所：県水産技術研究所

▽講演1 「水産技術研究所研究員による研究報告」

- ①ラウンドすり身製造技術による地域低利用資源のすり身化の検討
- ②カツオロイン加工副産物から製造したすり身原料の品質
- ③海面養殖及び陸上養殖サガラメの成分比較

▽講演2 「カツオの回遊生態と資源」

講師：茨城大学地域総合研究所 客員研究員 二平 章氏

▽講演3 「水産加工におけるHACCP導入の実際」

講師：東海大学海洋学部 教授 荒木恵美子氏

▽募集：定員80名

▽申込・問合せ：県水技研・企画加工研究室 ☎054-627-1818

4. 2010年度学生募集中 若きリーダーを育む —全国漁業協同組合学校—

全国漁業協同組合学校（千葉県・柏市）では、2010年度の学生募集（第3回）を1月18日から募集しています。募集に関する要領は以下のとおりです。

1. 募集人員：50名（男女共学）
2. 就業年限：1年
3. 入学資格：JFグループの推薦を得て、次のいずれかに該当した者のうち選考に合格した者。
①1カ年以上漁業に従事し、またはJFグループに勤務中の者
②高卒<2010年3月末卒業見込者を含む>または同等以上の学力を有すると認められる者
4. 願書提出期間：1月18日（月）～3月12日（金）
5. 提出書類：①入学願書 ②成績証明書 ③健康診断書 ④推薦書
6. 入学選考料：3万円
7. 応募先：出身地域のJF漁連会長、JF組合長あて
8. 選考日：3月19日（金）
9. 合格発表：3月26日（金）
10. 連絡先：全国漁業協同組合学校 ☎04-7144-8125

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう